

ソーシャルファーム長岡開所式／記念講演

コミュニティビジネスにおける農業の可能性 ～園芸福祉の視点から



このたび宇都宮市長岡町に、障がい者、生きにくさを抱えた人たちが元気になれる、自立支援農場を開設することになり、これを記念して講演会を開催することとしました。

お席に余裕がある限り、どなたでも参加できます。

会場の都合上、必ず事前に電話かFAX、メールにて申し込みの上、ご参加下さい。

講師 久保田 豊和氏

(しずおかユニバーサル園芸ネットワーク副理事長)

日時 2012年4月21日(土) 13:30～15:00

場所 ありんこ保育園／ホール

(宇都宮市長岡町167-8)

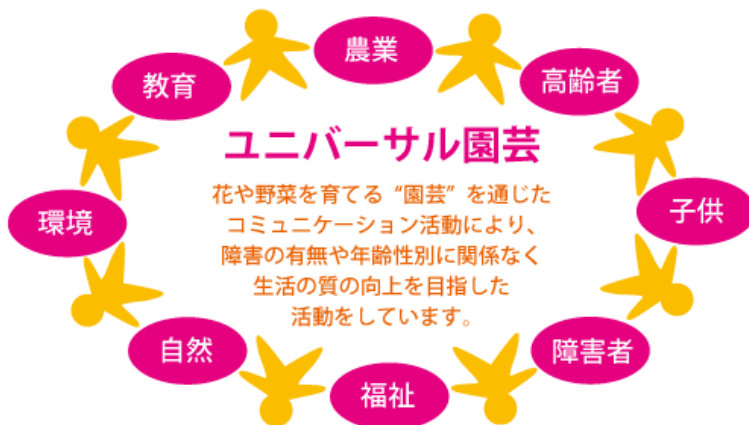
【講師のその他の略歴】

前、静岡県立田方農業高等学校ライフデザイン科教諭。

著書『畑仕事の十二カ月～暦に学ぶ野菜づくりの知恵』（家の光協会）。

全国初、農業高校に併設された特別支援学校の分校にて障がい者の就労訓練やソーシャルスキルトレーニングなど、園芸福祉に取り組んでいる方です。農業は、作業者の能力に応じて仕事を組み立てることができ、成果物は多様性があって良く、しかも形になって現れるため、障がいを抱えた方々が自己肯定感を持って働き、元気になれる創造性のある仕事です。小ロット生産、少量販売でも、工夫次第で一定の収入を稼ぐことができます。農業をご専門とされる久保田先生から、農業と障がい者支援をどのように結びつけることができるか、コミュニティビジネスの観点からお話をさせていただきます。

ユニバーサル園芸とは



しずおかユニバーサル園芸ネットワークのHPより転載。

ユニバーサルデザインの考え方に基づいて、園芸活動を通じて得られるさまざまな効用（心身のリハビリテーションや心の癒し効果、コミュニケーション促進、共同作業による社会参加促進）を利用して、障害のある人ばかりでなく心身の健康や機能回復、心のゆとりや豊かさなど生活の質の向上を実現しようとするものです。

【会場周辺地図】宇都宮市長岡町167-8



一般社団法人ソーシャルファーム栃木とは

2012年1月、企業組合とちぎ労働福祉事業団が母体となり、就労支援の専門事業体として設立した。設立目的は「障害者及び労働市場で不利な立場にある人々のために仕事を生み出し、雇用機会を創出するとともに、持続可能な循環型社会を実現すること」である。

ソーシャルファーム長岡はその第1号事業所であり、3月に障害者自立支援法に基づく事業所指定を受け、障害者就労継続支援（B型）事業所として活動を開始する。生きにくさを抱えた方々の自立を支援する農場経営に挑戦するとともに、農業コミュニティビジネスによる就労機会の創出を目指す方針である。

主催 一般社団法人ソーシャルファーム栃木 事業所 ソーシャルファーム長岡

〒320-0004 宇都宮市長岡町293

☎028-680-6612 FAX028-680-6613

E-Mail info@kyoudou.net ブログ <http://blog.canpan.info/trfj/>